

枕崎市地域公共交通活性化協議会 令和 8 年度第 2 回会議 議事要旨

令和 8 年 6 月 22 日（月）13 時 15 分

枕崎市市民会館第 1 会議室

【出席者】 委員 30 名中 20 名の出席あり

【内 容】

1 開会

2 会長あいさつ

枕崎市長よりあいさつ

3 協議

(1)委員の交代について

質疑なし、承認

(2)令和 8 年度全体スケジュールについて

質疑なし、承認

(3)パブリックコメント及び利用登録者アンケート結果について

(4)予約型乗合タクシー本格運行体制について

(5)予約型乗合タクシー本格運行委託に係る補正予算について

委員	既存のタクシー初乗り運賃が 770 円であるのに対し、本事業が 500 円と安いと、既存のタクシーからの移行が懸念される。時期を見て適正化を検討してはどうか。
委員	枕崎市で公式 LINE の導入予定はあるか。
事務局	今年度当初予算に経費を計上しており、今年度後半の導入を目指して準備している。
委員	乗合タクシーの予約システムへのリンクを公式 LINE に載せれば、高齢者を含めた住民への普及に繋がるのではないかと。ぜひ検討してほしい。

質疑応答後、承認

(6)枕崎市地域公共交通計画【別紙】の策定について

(7)地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統）に係る計画の認定申請について

委員	各系統の日数と計画運行回数のバランスが合わないように見える。
事務局	運行実績に基づき設定した「運行率」をもとに、年間計画運行回数を系統ごとに算出している。
委員	今回のフィーダー申請にあたり、系統によって利用率に差がある。維持のためには利用が不可欠であるため、周囲への利用呼びかけ等をお願いしたい。

質疑応答後、承認

(8)地域公共交通計画策定支援業務委託契約仕様内容について

委員	スケジュールを見ると 6 月に公表されているが、仕様書はすでに公表されているものか。
事務局	仕様書はすでに公表している。実際の契約締結にあたっては、本日いただいたご意見を基に調整し、事業者と決定したいと考えている。
委員	コンサルタントが過去の計画をそのまま横移する可能性もあるため、市の方向性を明確に提示すべきである。
委員	仕様書の「公共ライドシェア」について、市としてそこまで踏み込むのか。タクシー事業者とのハレーションも懸念されるため、最終手段であるということを念頭に置いてほしい。
事務局	ご意見を踏まえ、地域のことをよく理解している事業者の選定や、契約調整において配慮したい。ライドシェアについても、現状どのような形ができるのかはこれからの検討課題だが、住民ニーズ（増便要望）に応えるための一つの選択肢として盛り込んだ。他市の状況も参考にしつつ、事業者とバランスを取りながら検討する。

質疑応答後、承認

(9)その他

事務局	（空港バスリレー運行事業について説明）
委員	パークアンドライドの推進や、バスとタクシーの広報を連携して行う工夫をしてほしい。また、突然行って乗れないことがないように、予約が必要である旨を確実に周知してほしい。
委員	今回は実証運行であり、実績が伴わなければ来年度はなくなる可能性がある。ぜひ利用をお願いしたい。
委員	枕崎からの空港バスは廃止に至った経緯がある。空港接続には早朝・夜遅い便の運転手確保が難しく、距離や法的基準から継続が困難であ

	った。南さつま市からの要望を受け、加世田営業所の人員体制で期間限定の試行を行うこととなった。来年度以降の継続は現時点ではわからないが、実績が伸びれば検討の余地もあるため、理解と協力をいただきたい。
--	---

質疑応答後、承認

4 その他

委員	・ 鹿児島交通の加世田営業所においては現在 30 名が在籍しているが、3 名不足している状況にある。加えて、今年度中に定年等により 2 名の退職が確実となっており、人員確保が喫緊の課題である。 ・ 燃料費だけでなく、物価高騰の影響によりオイル等の外注費や関連経費も大幅に上昇している。車両維持においても、オイル交換の頻度を見直さざるを得ないほど、経費面で非常に苦しい状況が続いている。 ・ 今年度より創設された枕崎市の「若者就労支援の直接支払給付金事業」について、令和 4 年度入社者も対象に含まれるなど、事業者として非常にありがたく感じている。運転手が 1 人増えることは、減便回避など社会全体にとって大きな利益となるため、この制度がより広がり、公共交通従事者が増えることを強く願っている。 ・ 運転手 1 名の確保が路線の維持に直結する。ぜひ、バスやタクシーの運転業務に興味がある方がいれば、採用窓口への連絡をお願いしたい。
----	---

5 閉会